



こころざし

みずか うご

# 「志をもち、自ら動く」

令和3年3月3日発行

音戸中学校 学校通信第35号 (教頭：坪浦敏美)

## 「まとめ」と「卒業」の3月…あなたは何を「教訓」に？

3月を迎え、第3学期は残り一か月足らずとなりました。3月13日(土)には、第16回卒業証書授与式を行い、第3学年48名が本校を卒業します。今月も新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意し、一日一日を大切に過ごしながらか、充実した生活を送りましょう。

さて、石原幹生校長は2月24日(水)の学校朝会「講話」において、『3月の心構え』と『「教訓」から学ぶ姿勢』について話されました。以下、「講話」を掲載します。(内容を一部抜粋しています。)

「(前略)早いもので、2月も終わり、すぐに3月に入ります。1・2年生は学年のまとめをしっかりとし、4月からの新学期の備えをしておきましょう。

3年生は、卒業を目前に控えています。10日あまりの中学校生活をかみしめながら過ごしていきましょう。また、3月8日、9日は、公立高校の選抜Ⅱの入試があります。入試は、ある意味、クラス、学年全体で取り組むものです。これから本番に臨む友達を心から励ますことができるよう、その雰囲気や授業やその他の活動で作っていきましょう。

さて、今日は、イソップ童話の「アリとキリギリス」の話をしませんが、その前にイソップ童話について解説します。(中略) 童話の特徴として、動植物を主人公にした話が多く、話の1つ1つが**厳しい社会を生き抜くための「教訓」として締めくくられています。「教訓」とは、行動の参考となるような「為(ため)になる教え」**のことをいいます。(中略)

では、皆さんもよく知っている「アリとキリギリス」の内容について話します。

夏の間、アリたちは冬の食料を蓄えるために働き続け、キリギリスはヴァイオリンを弾き歌を歌って過ごします。やがて冬が来て、キリギリスは食べ物を探すものの見つからず、最後にアリたちにお願ひし、食べ物を分けてもらおうとしますが、アリたちは「夏には歌っていたんだから、冬には踊ったらどうだい？」と食べ物を分けることを拒否し、キリギリスは飢えて死んでしまう…という「結末」です。

この話には、別の「結末」のものもあります。(中略) アリたちはキリギリスに食べ物を恵み、「私たちは、夏にせっせと働いていた時、あなたに笑われました。あなたは遊んでばかりで何の備えもしなかったから、こうなったんですよ」とキリギリスに告げます。それを機に、キリギリスは心を入れ替えて働くようになる…という「結末」です。さて、皆さんはどちらの「結末」がいいと思いますか？(中略) イソップ童話は、**厳しい社会を生き抜くための「教訓」**めいた内容のものが多いです。皆さんも、今日の話から何かをつかみ、そして、これからの生活に活かしてほしいと思います。」



## 「サオンドバッジ」年間10個達成 →「ゴールドバッジ」授与 3年生から6名の達成者が出ました！

今年度の「サオンドバッジ」年間10個以上の取得生徒を紹介します。(3月2日現在：組・出席番号の順)

【3年1組】大瀬戸 捺さん(赤7個/青2個/黄1個) 住木 ヒカリさん(赤6個/青3個/黄3個/紫1個)

【3年2組】淀川 稜悟くん(赤3個/青3個/黄3個/紫1個) 吉川 咲代花さん(赤7個/青1個/黄2個)

樽村 妹穂さん(赤4個/青1個/黄4個/紫1個) 藤井 琴さん(赤5個/青2個/黄2個/紫1個)

現在、全校集会は感染症対策のため放送により行っており、全校生徒の前では披露ができませんが、6名の皆さんには、3月12日(金)の表彰式(3年生のみ参加)で「ゴールドバッジ」を授与します。おめでとうございます！

音戸中学校独自の制度である「サオンドバッジ」は、①学習活動、②当番活動、③各種検定やコンクール、④部活動での中体連・中文連活動、⑤継続的な地域での協働活動、地域での社会体育の活動、⑥毎月の学級内活動 等で活躍・入賞・選出された生徒に授与するものです。…年間10個以上の「サオンドバッジ」を取得した生徒の「不断の努力と真面目で真摯な取組の姿勢」は、本校の模範(モデル)となるものです。素晴らしいですね。

## 「さわやか音中生」学級のMVPの紹介 “サオンドバッジ(黄)”を授与します” 学級MVP【2月】

1年1組：的場 蓮くん、中村 友南さん 1年2組：中山 太一くん、住本 愛花さん

2年1組：寄本 拓海くん、平川 ほのかさん 2年2組：平沢 郁臣くん、北吉 釉夏さん

3年1組：河本 陸くん、川崎 心春さん 3年2組：湯原 悠仁くん、樽村 妹穂さん